

審査項目	記載要件（＝応募者が書くべきこと）	審査の視点（＝審査員が見る基準）	対象書類	会社概要書（第4号様式）	実績調書（第5号様式）	企画提案書（任意様式）	業務実施体制方針	町内業者等（町内及び町外事業者）との事業構築方針（任意様式）	保守点検業務及び修繕の実施方法	緊急時の実施方法（任意様式）	業務工程表（任意様式）	見積書（任意様式）	評価の観点	配点小計
1. 組織、人的基盤	業務を安定的に実施できる組織体制・人員構成・専門資格者の配置状況を記載すること。	組織力、専門性、安定性が確保されているか。継続性やバックアップ体制が明確か。	会社概要書（第4号様式）	○									管理責任体制の明確さ 技術者の資格・人数の適正 品質管理体制 代替人員・応援体制 組織の安定性	5
2. 業務実績	類似業務（包括管理・FM・保守点検等）の実績と、その成果を記載すること。	実績の質・規模・自治体での経験などが適切か。再現性のある成果となっているか。	実績調書（第5号様式）		○								自治体向け実績 包括管理または類似業務の経験 多用途施設での経験 修繕・更新工事の実績 成果改善事例の有無	5
3. 包括管理の基本的な考え方	包括管理をどう捉え、どのような方針・理念で川南町に適用するかを記載すること。	町の状況を踏まえた基本方針となっているか。包括管理の意義と町に対する貢献が明確か。	企画提案書（任意様式）			○							包括管理の目的理解 住民サービス向上の視点 全庁の最適化の視点 リスク分担の理解 KPI管理の提案	5
4. 業務実施体制	本町での業務実施体制（責任者、配置人数、指揮系統、代替要員等）を具体的に記載すること。	体制が明瞭かつ実現性があるか。責任の所在が明確か。過不足ない人員配置となっているか。	業務実施体制方針及び企画提案書（任意様式）			○	○						現場管理体制の明確性 専門技術者の配置 計画立案・進行管理体制 情報共有・報告体制 代替要員・緊急応援体制	25
5. 川南町内業者との協力体制、活用、育成等の考え方	町内業者との連携方針、発注・協働方法、育成策を記載すること。	地元活用の意欲・仕組みが具体的か。町内経済への波及効果が期待できるか。	業務実施体制方針、町内事業者等（町内及び町外事業者）との事業構築方針及び企画提案書（任意様式）			○	○	○					町内業者の活用方針 育成・技術力向上策 公正な発注プロセス 中長期的連携 緊急時の地元連携 地域経済への効果	30

審査項目	記載要件（＝応募者が書くべきこと）	審査の視点（＝審査員が見る基準）	対象書類	会社概要書（第4号様式）	実績書（第5号様式）	企画提案書（任意様式）	業務実施方針	内業者等（町及び町外事業者）と事業者との業務方針（任意様式）	保守点検業務及び修繕業務の実施方法	緊急時の実施方法（任意様式）	業務工程表（任意様式）	見積書（任意様式）	評価の観点	配点小計
6. 保守点検等業務水準の向上、効率性	保守点検の実施方法、品質向上策、効率化の取り組みを記載すること。	点検手法の合理性、ICT等の活用、質向上の仕組みがあるか。	保守点検等業務及び修繕業務の実施方法及び企画提案書（任意様式）			○			○				点検の標準化・品質向上策 ICT活用 効率化の工夫 修繕計画との連動 安全管理	25
7. 巡回点検、建築物点検、小破修繕業務水準の向上、効率性	巡回点検、建築物点検、小破修繕の実施方針、対応スピード、品質向上策を記載すること。	迅速性・効率性・品質確保の工夫があるか。町の実態に合致しているか。	保守点検等業務及び修繕業務の実施方法及び企画提案書（任意様式）			○			○				巡回点検の具体性 建築物点検の専門性 小破修繕の迅速対応 判断基準の明確性 報告・改善の仕組み	25
8. 緊急時対応	緊急時の通報体制、初動対応、応援体制、夜間・休日の対応方法を記載すること。	初動の迅速性、24時間対応能力、実効性ある体制となっているか。	緊急時対応の実施方法（任意様式）							○			初動対応の迅速性 応急復旧体制 災害時の支援体制 BCPと訓練	20
9. 付加価値の提供、独自のノウハウ活用	他社との差別化となる独自技術、改善提案、追加価値の内容を記載すること。	独自性があるか。町の課題に合致した効果的な価値を提供できるか。	企画提案書（任意様式）			○							独自ツール・技術の導入 業務効率化の具体的効果 コスト削減効果 住民サービス向上 省エネ・脱炭素 成果事例	30
10. 業務工程	年間スケジュール、業務工程、作業計画を具体的に記載すること。	工程が現実的か。緊関を見た合理的配置か。見落としがないか。	業務工程表（任意様式）								○		工程の現実性 町との協議プロセス 繁忙期の工程調整能力	15
11. 提案見積額	提案額、内訳、算定根拠を記載すること。	根拠が明確か。適正かつ合理的であるか。過小・過大でないか。	見積書（任意様式）									○ ○	見積書（任意様式）※最低提案金額/提案金額×配点 提案額、内訳、算定根拠が明確に記載され、適正かつ合理的であるか。過小・過大でないか。	15
				5	5	32	11	6	10	4	3	2		200

※ 審査方法は、審査員が採点した点数のうち、最高得点と最低点を除いた点数を合計し、その平均点を採点結果とし、交渉権第1位及び第2位を決定するものとします。

※ 合格基準点は、採点結果が120点以上の場合とします。

※ 採点結果が同点の場合は、「9. 付加価値の提供、独自のノウハウ活用」、「5. 川南町内業者との協力体制、活用、育成等の考え方」、「4. 業務実施体制」、「6. 保守点検等業務水準の向上、効率性」、「7. 巡回点検、建築物点検、小破修繕業務水準の向上、効率性」の順序で、その項目の審査点を比較し決定します。